



静岡市 いきもの 散歩マップ

真富士山コース

しょくぶつ

<p>● セキヤノアキチョウジ</p>  <p>シソの仲間、8～10月に細長い紫色の花を咲かせる多年草です。山地の林の中やそのまわりに生えています。</p>	<p>● フタリシズカ</p>  <p>4～5月に小さな白い花をいくつかが咲かせます。山地のやや暗い林の中で見られます。</p>	<p>● イチヤクソウ</p>  <p>6～7月に梅に似た白い花をいくつかが咲かせる多年草です。山地の林の中で見られます。</p>	<p>● ヤマアジサイ</p>  <p>谷すじで見られることが多いアジサイです。6～7月に、たくさん小さな花と、その周りに大きな花を咲かせます。</p>
<p>● アキノキリンソウ</p>  <p>キクの仲間の多年草で、8～11月に黄色の花をたくさん咲かせます。山地～丘陵地の日当たりのよい場所で見られます。</p>	<p>● リンドウ</p>  <p>明るい林の中やそのまわりなど日当たりのよいところに見られます。10～11月に青紫色の花を咲かせます。</p>	<p>● シモバシラ</p>  <p>シソの仲間、10月に細かな白い花をたくさん咲かせます。冬には根から吸い上げられた水分が枯れた茎を包むように凍って氷柱となります。</p>	<p>● アセビ</p>  <p>小さな木で、4～5月に白色のツボ型の花をつけます。毒性の高い植物で、シカも葉を食べません。</p>
<p>● エンレイソウ</p>  <p>ユリの仲間、4～6月に緑色の小さな花を咲かせます。低地のやや湿った場所で見られます。</p>	<p>● ヒナノウスツボ</p>  <p>ゴマノハグサの仲間、7～9月に紫色の花を咲かせる多年草です。山地の谷沿いなど、湿気のある場所で見られます。</p>	<p>● ヤマツツジ</p>  <p>ツツジの仲間、4～5月に淡紫色の花を咲かせます。主に山地の林内や林縁に生えています。</p>	<p>● ミツマタ</p>  <p>中国原産で、枝が必ず三つに分かれることからこの名があります。3月に白色の花を咲かせます。</p>
<p>● シロヨメナ</p>  <p>キクの仲間、9～11月に白い花を咲かせます。山地の林のまわりで見られます。</p>	<p>● ヤマブキ</p>  <p>バラの仲間、4～5月にオレンジ色をおびた黄色の花を咲かせます。丘陵地や林の中で見られます。高さは2mほどになります。</p>	<p>● ミツバツツジ</p>  <p>小さな木で、尾根沿いなどに見られます。4～5月に赤紫色の花を咲かせます。</p>	<p>● カツラ</p>  <p>生長すると樹高30mほどにもなる落葉高木で、主に谷沿いに見られます。街路樹や、公園木としても利用されています。</p>

アクセス情報



- 【バスでのアクセス】
1. しずてつバス静岡駅前北口バスターミナル9番乗場より「安倍線」に乗り。
 2. 「平野」にて下車（静岡駅より約55分）。
 3. 「平野」から真富士山登山口入口まで、徒歩約35分。

緊急連絡先

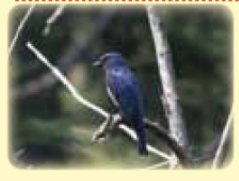



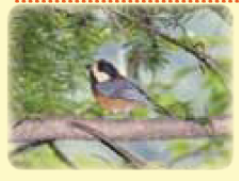
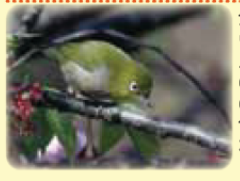








- ・ 静岡県救急医療情報センター TEL&FAX: 0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)
- ・ 消防 119番
- ・ 警察 110番

注意事項

- ・ ハイキングでの安全は自己責任をお願いします。季節に合わせた服装、水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりとっておきましょう。
- ・ 里山には、ハチ、ヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・ コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹、花や山菜などを無断で取らないでください。
- ・ 動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク
 発行者：静岡市環境創造課
 〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号
 TEL: 054-221-1357 FAX: 054-205-2666
 制作年：平成27年2月

とり・どうぶつ

<p>● オオルリ</p>  <p>全長17cmくらいで、繁殖のため、春に東日本に渡ってきます。雄の背中や尾は光沢のある青色をしています。</p>	<p>● ホオジロ</p>  <p>全長17cmくらいで、オスは高い木の上で「チヨッピィ、チチュ、チュチュリチュー」と鳴きます。</p>	<p>● コゲラ</p>  <p>全長15cmくらいの小型のキツツキで、「ギー、ギー」と鳴きます。木の皮の下の虫をついて食べます。</p>	<p>● ニホンジカ</p>  <p>大型の哺乳類で、オスはツノをもっています。近年、数が増えています。</p>
<p>● ヤマガラ</p>  <p>全長13～15cmくらいで、背と腹がレンガ色をしています。「ツツピー、ツツピー」と鳴きます。</p>	<p>● メジロ</p>  <p>全長12cmくらいで、からだの上面はやや暗めの黄緑色で、眼のまわりは白色、胸は黄色になります。</p>	<p>● アオゲラ</p>  <p>留鳥として、主に低山に生息する緑色のキツツキの仲間です。鋭いくちばしで、木の幹をつつき、中の虫を探します。</p>	<p>● ヒダサンショウウオ</p>  <p>山地の川にすむ18cmくらいのサンショウウオです。紫がかった体色に、黄色の斑点模様があります。</p>
<p>● ジョウビタキ</p>  <p>全長14cmくらいで、翼は黒褐色でまん中あたりに白い斑紋があります。本州では冬に見られます。</p>	<p>● アオジ</p>  <p>夏は高原などで繁殖し冬は低地に移動するホオジロの仲間です。オスは名前の通りくすんだ緑色をしています。</p>	<p>● カケス</p>  <p>全長33cmくらいで、山地の林に1年中すんでいます。雑食で、主に昆虫や果実を食べます。</p>	<p>● モリアオガエル</p>  <p>体長4～8cmで暗褐色や緑色をしています。「コロロ、コロロ」と鳴き、池の上の樹に泡のような卵を産み付けます。</p>
<p>● コサメビタキ</p>  <p>夏鳥として渡来し、落葉樹林などで繁殖します。昆虫が主食です。主に春、秋の渡りの途中、街中の公園などでも見られます。</p>	<p>● マヒワ</p>  <p>冬鳥として渡来する小鳥で、樹林やそのまわりで群れ、木の実や種子を食べます。</p>	<p>● クマタカ</p>  <p>翼を広げると1.6～1.7mくらいになる大型のタカ仲間です。広い縄張りを持ち、ノウサギやタヌキ、ヤマドリ、ヘビ類などを餌とします。</p>	<p>● タゴガエル</p>  <p>体長4～5cmくらいのアカガエル仲間です。沢や水の湧き出ししている崖などに卵を産みます。</p>

むし

<p>● アサギマダラ</p>  <p>大型のチョウで、フワフワと飛びます。春に南から北の山地へ、夏に北から南の低地へ2世代で移動します。</p>	<p>● スジクワガタ</p>  <p>体長はオスで18～30mmくらいのクワガタムシの仲間です。大型のオスでは大顎の内側に2対の歯が見られます。</p>
<p>● オオムラサキ</p>  <p>国蝶に指定されている、青紫色の大型のタテハチョウの仲間です。幼虫はエノキなどの葉を食べます。</p>	<p>● アサヒナカワトンボ</p>  <p>体長4cmくらいの、金緑色で細い脚をもつトンボです。オスははねが橙色のものと透明なものがあります。</p>
<p>● ミヤマカラスアゲハ</p>  <p>青緑色にかがやく大型のアゲハチョウの仲間です。幼虫はキハダ、カラスザンショウなどの葉を食べます。成虫は4～9月に発生します。</p>	<p>● オオカマキリ</p>  <p>体長はメスの方が大きく、8～11cmほどになる大型のカマキリです。昆虫の他、カエルやトカゲを餌にすることもあります。</p>
<p>● ニワハンミョウ</p>  <p>2cmくらいのハンミョウの仲間です。オリブ色の地に白い斑紋があります。成虫は4～10月に見られます。</p>	<p>● オオスズメバチ 要注意</p>  <p>日本最大のスズメバチで、日本のバチでは最も強い毒をもちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。</p>

メモ

しずおか みんなの
しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう 検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)